



## 平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月5日

上場取引所 東 福

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社  
コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岡野 武治

TEL 093-372-9214

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	6,194	△12.0	156	6.0	272	△4.0	127	174.3
23年11月期第3四半期	7,042	△15.1	147	△79.7	283	△67.0	46	△91.0

(注) 包括利益 24年11月期第3四半期 125百万円 (—%) 23年11月期第3四半期 43百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	7.18	—
23年11月期第3四半期	2.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第3四半期	10,437	8,597	82.4
23年11月期	11,156	8,669	77.7

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 8,597百万円 23年11月期 8,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年11月期	—	4.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,502	△6.8	400	△50.2	520	△44.6	270	△29.8	15.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期3Q	17,930,000 株	23年11月期	17,930,000 株
24年11月期3Q	259,989 株	23年11月期	52,689 株
24年11月期3Q	17,714,063 株	23年11月期3Q	17,877,386 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要等もあり緩やかに持ち直してはいるものの、長期化する円高や欧州の金融不安、新興国の成長鈍化などにより、先行きに対する不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

主に発電所で使用される高温・高圧バルブの製造販売およびメンテナンスを展開する当社グループにおきましては、原子力発電の諸問題による様々な影響を受けており、引き続き厳しい事業環境が続いております。

国内のバルブ事業につきましては、期初においては新設プラントである常陸那珂火力発電所2号機向けの出荷に加え、震災により納入が繰延べとなっていた広野火力発電所6号機向けの販売が本格化しました。また5月以降は、上越火力発電所2号系列2軸、鹿島火力発電所7号系列1、2軸といった新設火力プラント向けの売上により概ね計画どおりに進捗しております。

一方、海外向けにつきましては、台湾の新設火力発電所案件を主体として既設弁のリプレースや部品取替などにより売上高確保に努めてまいりましたが、円高の影響などから依然として受注環境の回復が見られず低調裡に終始いたしました。特に当社の主力販売先である中国向けの売上が前年同期比で半減したことが海外向けにおける減収の最大の要因となっております。

メンテナンス事業におきましては、国内において原子力発電所が再稼働できない状況が続いていることから、原子力関連の事業領域が大幅に縮小しており、当社業績に重要な影響を及ぼしております。5月に柏崎刈羽原子力発電所5号機および6号機の定期検査工事が予定どおり売上計上されたものの、その他では収益形成の柱となる大型案件が不足し、前年同期に比べ大幅な減収となりました。

損益面につきましては、第2四半期までは原子力発電所定期検査工事の施工もあり比較的順調に推移しておりましたが、下期以降についてはメンテナンス事業における売上高の絶対量不足、さらにはバルブ事業における生産量減少に伴う工場稼働率の低下などから収益が大幅に悪化し、当第3四半期の連結会計期間では営業損失を計上するに至りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,194百万円（前年同期比12.0%減）、経常利益272百万円（前年同期比4.0%減）、四半期純利益127百万円（前年同期比174.3%増）となりました。

なお、営業外収益には、戦略的原子力技術利用高度化推進費補助事業として交付された平成23年度補助金の一部64百万円が含まれております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ718百万円減少し、10,437百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,411百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,233百万円、仕掛品が664百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ646百万円減少し、1,839百万円となりました。この主な要因は、未払費用が238百万円、支払手形及び買掛金が133百万円、退職給付引当金が98百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ72百万円減少し、8,597百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が14百万円減少し、また自己株式を取得したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月27日に修正発表した業績数値に比べて、売上高、利益ともに低い進捗率となっております。9月以降の3ヶ月間につきましても引き続き厳しい状況が見込まれます。

バルブ事業におきましては、国内では大間原子力発電所向けの売上が一部先送りとなったものの、引き続き新設火力プラント向けの販売を中心に概ね計画どおりに推移するものと見込まれます。しかしながら海外向けにつきましては、円高の影響等で受注環境に改善の兆しが見られないことから、引き続き低調なまま推移するものと予想されます。

メンテナンス事業につきましては、柏崎刈羽原子力発電所各号機におけるSRV設備の点検工事や福島地区での復興工事等により売上高の確保に努めてまいりますが、原子力関連の事業領域縮小に伴う売上高減少をカバーするには至らず、前期に比べ大幅な減収が予想されます。

損益面におきましても、バルブ事業では豊富な铸込量に繋がる海外向け生産の減少や国内向けバルブ販売の火力発電所案件への移行などから、また、メンテナンス事業では付加価値の高い原子力プラント向け工事案件の減少や工事量不足による待機コストの増加などから製造原価の上昇を見込んでおります。

このように厳しい状況が予想されますが、現段階においては平成24年6月27日に修正いたしました通期業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は国内原子力プラントの再稼働時期をはじめ、国内外における今後の原子力政策上の様々な要因により変動する可能性を含んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,061,577	3,472,880
受取手形及び売掛金	3,657,223	2,423,765
製品	102,193	109,690
仕掛品	1,746,331	1,081,555
原材料	103,539	100,785
その他	285,415	333,148
流動資産合計	7,956,280	7,521,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	783,865	735,243
機械装置及び運搬具(純額)	1,071,587	955,183
その他(純額)	693,858	628,592
有形固定資産合計	2,549,310	2,319,019
無形固定資産	23,213	29,741
投資その他の資産		
投資有価証券	168,902	183,577
繰延税金資産	386,668	309,955
その他	79,568	75,758
貸倒引当金	△7,600	△2,200
投資その他の資産合計	627,539	567,091
固定資産合計	3,200,063	2,915,852
資産合計	11,156,344	10,437,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,859	216,003
未払法人税等	108,401	10,814
未払費用	358,378	120,087
賞与引当金	51,730	111,589
その他の引当金	71,927	38,502
その他	235,114	215,143
流動負債合計	1,175,411	712,139
固定負債		
退職給付引当金	849,571	750,783
役員退職慰労引当金	223,177	183,551
その他	238,302	193,361
固定負債合計	1,311,051	1,127,696
負債合計	2,486,463	1,839,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,876,113	6,861,124
自己株式	△32,182	△87,433
株主資本合計	8,673,931	8,603,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,050	△5,848
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△5,848
純資産合計	8,669,881	8,597,842
負債純資産合計	11,156,344	10,437,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)
売上高	7,042,215	6,194,962
売上原価	5,872,593	5,053,213
売上総利益	1,169,621	1,141,748
販売費及び一般管理費		
役員報酬	140,537	136,166
給料手当及び賞与	291,248	273,243
賞与引当金繰入額	25,207	20,839
退職給付費用	23,045	23,054
役員退職慰労引当金繰入額	13,190	12,917
減価償却費	11,875	13,581
その他	517,365	505,941
販売費及び一般管理費合計	1,022,470	985,743
営業利益	147,151	156,004
営業外収益		
受取利息	127	133
受取配当金	2,830	3,043
持分法による投資利益	35,140	17,718
受取賃貸料	19,427	20,315
補助金収入	66,972	64,110
その他	12,590	12,884
営業外収益合計	137,089	118,206
営業外費用		
支払利息	338	1,202
その他	37	409
営業外費用合計	376	1,612
経常利益	283,864	272,599
特別損失		
固定資産除却損	5,919	2,009
関係会社株式売却損	13,517	—
災害による損失	175,548	14,418
特別損失合計	194,984	16,428
税金等調整前四半期純利益	88,879	256,170
法人税、住民税及び事業税	38,515	75,767
法人税等調整額	3,996	53,202
法人税等合計	42,511	128,970
少数株主損益調整前四半期純利益	46,367	127,200
四半期純利益	46,367	127,200



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,367	127,200
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3,310	△1,798
その他の包括利益合計	△3,310	△1,798
四半期包括利益	43,057	125,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,057	125,402
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,552,535	3,489,680	7,042,215	—	7,042,215
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,552,535	3,489,680	7,042,215	—	7,042,215
セグメント利益	17,974	559,877	577,852	△430,700	147,151

(注) 1. セグメント利益の調整額△430,700千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,248,326	2,946,635	6,194,962	—	6,194,962
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,248,326	2,946,635	6,194,962	—	6,194,962
セグメント利益	25,249	543,550	568,800	△412,795	156,004

(注) 1. セグメント利益の調整額△412,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。